

# 総務常任委員会

## 人口を減らさない施策

平成二十二年七月七日から九日の三日間、総務、厚生文教、建設経済、広報編集の四常任委員会で、石川県津幡町と内灘町、富山県入善町の三町の行政調査を行い、そのうち総務常任委員会所管として以下の調査を実施した。



津幡町での行政調査

### 津幡町

- ◎ 公共施設等管理公社創設による地域活性化の状況
- ◎ 人口増加の要因の行政施策

調査内容の公共施設等管理公社創設による地域活性化の状況では、高齢者福祉施設と道の駅である宿泊研修施設の町営施設を、指定管理者である公社が管理運営している。

## 連携事業の促進

### 内灘町

- ◎ 女性模擬議会の実施状況
- ◎ 他町村連携事業の実施状況

女性模擬議会の実施状況については、男女共同参画社会事業として、「女性のためのエンパワメント講座」を五回で実施。その成果を、町政に提言するため、議会形式で女性模擬議会を開催した。

その結果、女性が町政参画への動機付けとなり、活動する姿勢が育まれ、協働のまちづくりや、地域活性化へ繋がる

と考えられる。  
女性の皆さんが、今まで以上に町政や町議会へ関心を持っていただくため、本町においても参考となる事例である。

他町村連携事業の実施状況については、金沢市との連携事業を行なっている。内容は、災害時における相互応援、海岸清掃作業などの住民交流事業等で、一つの事業を両市町の相互協力により実施し、更なる効果を求めるもので、連携事業の促進に努めている。

本町も近隣市町村との相互協力で連携できるものは模索すべきである。

※エンパワメント  
権限を与えることで、自主性を生み出す方法。



内灘町

宿泊研修施設内では、地元の農産物等を販売しており、販売品にコンビニ系商品を導入し、経営改善に努めたところ、売上げが増。販売額売上げの約六割が、地元の農産物等で占めており、地元農業者の活性化に寄与している。

人口増加要因の行政施策は、中核都市「金沢市」の地理的条件を生かし、ベットタウンとして高規格道路の整備、住宅団地造成等インフラ整備を推進している。

本町においても、指定管理者制度等の事例研究により、農産物等について、どのようにすれば売上げが伸びるか、行政、生産者が一体となった販売促進が必要である。

また、地理的条件に違いはあるが、道路等の生活面で大胆なインフラ整備により人口を減らさない施策検討も必要である。

# 厚生文教常任委員会

## 子どもセンターの積極的な活用

### 内灘町 子育て支援策

県下一の子育て支援が充実した町にしたいとの気概から、子育て支援センター『カンガルーム内灘』を拠点施設に、子育て支援事業を実施している。

なかでも、ファミリーサポートセンター事業では子どもを預けたい人



内灘町の子育て支援センター

預かりたい人を会員として、育児の一時預かりを基本に育児の相互援助活動を行なっている。本町においても、子どもセンターの有効利用と幼保二元化に向けた新たな体制づくりについて検討すべきである。また、保育園・幼稚園・預かり保育・放課後児童クラブなど、子ども全体を支援する施策計画の検討が必要と考える。

## 防犯団体の連携推進

### 入善町 環境美化対策 安心安全の まちづくり策

ポイ捨て防止条例が平成十一年に設置され、四十二名の環境保全監視員により不法投棄などのパトロールを行なっている。

また、百三十二地区より選出された委員による、環境保健衛生協議会を組織している。ボランティアの積極的活用による活動は、町政参加への良いきっかけになっているが、意識のマンネリ化が課題となっている。本町もポイ捨て防止条例を制定し、環境美化に取り組んでいるが、更なる環境美化を推進するためには、ボランティアを積極的に活用した町政参加を可能とする意識改革の施策検討が大切である。



水が豊富な入善町

り策については、災害対策基金を設置し、大規模災害等が発生した場合に、災害時の物品購入を適時適宜に迅速に活用運用しようとしている。

に取組んでいる。本町の災害時には、消防団はじめ、町や県による防災パトロールを実施しており、一定の成果をあげている。防犯対策についても、高齢者団体の見守り防犯協会等活動を実施している。より安全なまちづくりのためには、防犯活動実施団体等の連携を密に、自分たちの町は自分たちで守るという意識の高揚が必要である。

# 建設経済常任委員会

## 林業活性化への取組みを強化

### 津幡町

#### ◎ 森林施業の推進策

森林施業費用の一部を補助し環境保全活動が活発化したこと、またボランティア団体による森林保全活動の実施状況を調査した。

平成十二年度に「津



森林保全を推進する津幡町

幡町森林保全対策造林事業補助金交付要綱」を制定。造林事業などに係る費用の10%以内、造林作業路の開設にかかる費用の5%以内を金沢森林組合に補助。交付要綱制定以前は、施業にかかる費用が年間二千万円余りだった。森林所有者の高齢化、担い手不足が懸念さ

れていたが、平成二十二年には、組合への委託が二倍強に上がり、森林所有者の意識改革が進み、森林保全の促進がなされた。

また、広域的な保全活動の必要性から、河北郡二市二町合同で、「河北森林づくりの会」を設立。

九十名の会員で、竹林整備、ニセアカシア林整備、新月伐採などのボランティア活動を行っている。

津幡町、棚倉町また他市町村においても、森林所有者の高齢化と、費用面からくる担い手不足は深刻である。

地球環境、森林保全が叫ばれている今こそ、大胆な財政出動、施策を持つて対応すべき。

また森林環境保全の意識改革にボランティア団体は大きな役割を果たすと思われる。

## 意欲的な企業誘致活動

### 入善町

#### ◎ 企業誘致推進策

国内の厳しい経済環境にもかかわらず、昨年に誘致企業二社が操業開始。その後も会社の増設が行われている現状を調査した。

まず驚かされたのは、担当職員の意欲。絶対に企業誘致をするといった意気込みが感じられた。

それと同時に、企業立地に優れた環境がそろっていて、それをうまく活用していた。

オーダーメイドでの用地提供、強い地盤、豊富で良質な地下水、安くて安定した電力の供給、充実した交通網、災害の少ない町。町長をトップに全庁的な誘致体制、県の関係者がこれらを見事に活用し、誘致を成功させている。

特異な例としては、コ

ンサルタントを活用し、情報収集、業界新聞利用PRを行っていた。

また、補助金など支援策も充実していた。

棚倉町においても、優位性の研究からはじまり、より積極的な情報収集、そして職員のみならず、多くの人がセールスにあたることを期待したい。



特産品のスイカを活用しPRに努めている

# 広報編集常任委員会

見やすく親しまれる議会だよりへ

## 津幡町・内灘町 議会だよりの 編集方法策

津幡町においては常に住民が読むものであるということ念頭に置き、読みやすく、分かりやすく、親しまれる議会広報を目指すという

の活動状況や行政の動きをすばやく、正確に伝える努力がみられた。

次の内灘町において、議会だよりは全国町村議会広報コンクールにおいて平成元年から優秀賞一回、入選四回、奨励賞九回、と大変素晴らしい実績を残している。

方から、まず「読んでもらえる広報」を念頭に編集に取組んでいる成果だと思われる。また議会だよりを身近に感じてもらうため、住民参加型企画や広報モニター制度を採用し、親しみを感じてもらうための創意工夫がなされている。

これは、議会だよりは町民と議会との意思の疎通を図り、相互信頼を培うものという考え

いう点であり、これは住民の方々に、より早く情報を伝えるべきという考えが議員共通の認識としてあることだと思う。

以上、本町でも取り

入れることができるものも多く、今後の参考としたい。

今回の行政調査をもとに、広報編集常任委員全員でより「見やすく、親しまれる」議会だより編集に努めます。

つばた 議会だより No.114 平成22年7月5日

6月定例会

ヒフ・子宮頸がん予防接種に助成	2P
クローズアップ こんなことに使われます	4P
委員会審議から	6P
あの質問のゆくえ 剪定枝をチップ化	9P
いっばん質問 町政を問う	10P

発行：石川黒内灘町議会 編集：広報編集常任委員会

全国町村議会広報コンクールで高い評価を受けている

STAND UP! うちなだ議会だより Vol.101 平成22年4月27日

3月定例議会

予算審議会 Q&A・新規事業ピックアップ	4
委員会レポート	10
一般質問 -11人が登場-	12
ありやーどうなったがいねー	23
突撃！街がインタビュー 中川 謙さん(向陽館)	24

新一年生のみなさん ご入学 おめでとう！(大根布小学校)

発行：石川黒内灘町議会

全国町村議会広報コンクールで何度も受賞